

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く

(180)

令和6年度八講師城跡発掘調査の成果

八講師城跡の総合調査と調査目的

米原市では、八講師城跡の保存と将来的な活用を目的として国史跡指定を目指しております。令和4年度から4か年計画で総合調査を進めています。

3年目に当たる令和6年度は、Ⅲ郭および北尾根に設けられた曲輪群の年代と建物の確認、そしてⅢ郭の虎口構造の確認を目的として、令和6年5月8日から9月17日にかけて発掘調査を実施しました。

令和6年度の調査成果

Ⅲ郭虎口では、虎口構造の確認を目的として発掘調査を実施したところ、石垣・石段を確認しました。石垣は根石しか残っておらず、隅角部にあつたとみられる石が遺構面直上に落ちている状況から、廃城直後に入人为的に破壊されたものとみられます。また虎口内部に傾斜から平坦へと変わった地点があり、そこに門の存在が想定されますが、その門の想定ライン上に石垣石材が一列に並んでいました。おそらく、廃城時に石垣石材を利用して、虎口を閉塞した可能性が考えられます。

そのほか、虎口の南側に鏡石とみられるひときわ巨大な石が2石残っています。この石は虎口の正面側の石垣の隅角部に据えられていましたとみられます。



Ⅲ郭虎口の石垣検出状況(写真上)
北尾根に設けられた曲輪で見つかった柵列の跡(写真下)

石段は、虎口の南側中央部において見つかりました。石段は4段ほど残っており、最上段には長方形の石が横向きに据えられ、そのほかは小さな礫を据えて段を形成していました。見つかった石段より上は、遺構面が削られているため石段の続きを確認することができませんでしたが、さらに石段が続いていた可能性や、石段より上はスロープ状であった可能性の2通りのパターンが想定されます。なお、このⅢ郭の調査では、土器などの遺物は全く出土しませんでした。

北尾根に設けられた曲輪群では、柱穴や礎石建物の礎石とみられる石を数点確認しましたほか、柵列とみられる柱穴が曲輪の先端部分で見つかっています。遺物は、灯明皿として使用されたとみられる土師皿を表探ししていません。また、T2で金属製品や碁石などが出土しています。

調査成果のまとめ

今回の調査により、八講師城跡のⅢ郭虎口に石垣・石段が設けられていたことが明らかになりました。併せて、石垣の一部が人為的に破壊を受けていることや石垣石材を利用して虎口を閉塞していることも判明しました。これらの状況は、この時代のいわゆる「破城」の在り方を示していると言えます。また、石垣石材が採石された場所を特定したことにより、城域の資材利用の在り方も推測できるようになりました。

(生涯学習課
石田 雄士)
生涯学習課 文化財保存活用推進室

石垣の石材はどこから運ばれてきたのか

石垣の石材には、チャートと呼ばれる岩で構成されていることが分かり、チャートが南西側に土壌が設けられていますが、その上にチャートを加工した時に出たとみられる細かい石(チップ)や石垣に使用されなかつたとみられる石材が散乱していました。おそらく、I郭と北西尾根で採石したチャートをI郭の土壌上で加工し、その後虎口に運び、石垣に使用したとみられます。

発掘調査について
伊吹山テレビでも紹介しています!



▲令和5年度調査



▲令和6年度調査

消費生活相談コーナー

5月は消費者月間です

消費者月間統一テーマ「明日の地球を救うため、消費者にできることとグリーン志向消費～どのグリーンにする?～」



消費生活相談員より一言

かけがえのない地球を守り、将来世代に引き継いでいくために、どんな消費行動が地球にとって良い行動なのかを考え、話し合う機会をつくりませんか?地球環境に配慮したグリーン志向の消費行動をみんなで始めましょう!

「おかしいな」と思ったら、
一人で悩まず、
まずは消費生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)

相談専用 ☎ 53-5110

(受付) 平日 9時30分～16時

米原警察署情報

米原警察署 ☎ 52-0110

悪徳商法に注意しましょう!

悪徳商法の被害に遭わないため、次のことに気を付けましょう!

- すぐに契約せず、家族など信頼できる身近な人に相談する。
- 契約内容を確認し、それを明らかにした書面を受け取る。
- 身に覚えのない請求書が送られてきてても、内容が確認できるまでお金を振り込まない。
- クーリング・オフ制度を覚えておく。
- 突然の訪問があっても安易に自宅に入れない、契約しない。
- 困ったり、おかしいと思った時はすぐに警察へ通報する。



令和7年市内交通事故数(3月末時点)

件数 14件(+2件) 死者 0人(±0人)
傷者 14人(-7人) ※()内は前年比